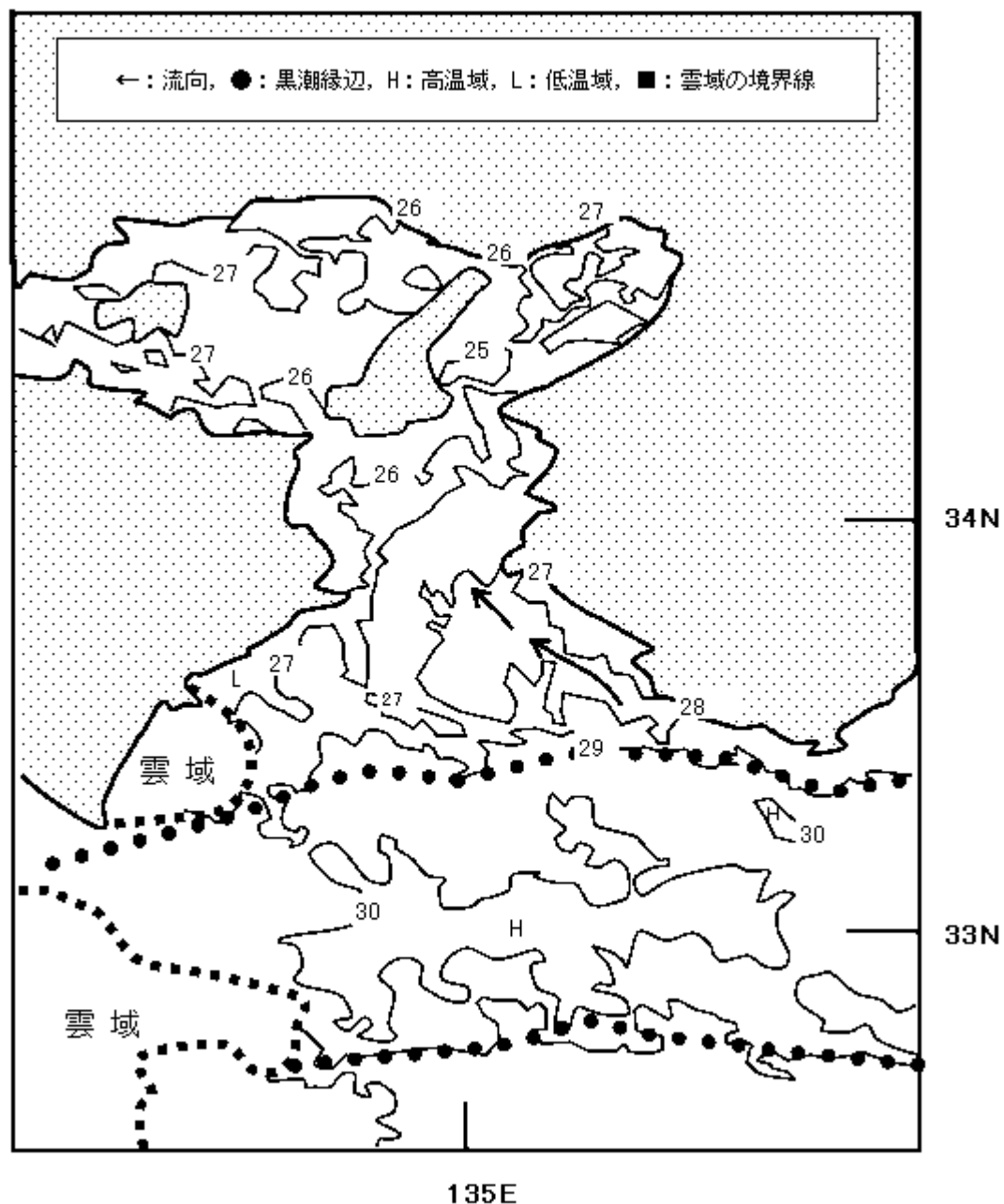


1. 海況の経過



上に当水産研究所ホームページに公開されている8月12日の人工衛星画像(漁業情サービスセンター提供)を示した。黒潮は室戸岬沖、潮岬沖とも接岸している。黒潮本流の表面水温は29～30℃台である。表面水温は播磨灘が26～27℃台で、紀伊水道内部は26～27℃台で、外域は26～28℃台である。潮岬沖の黒潮が接岸しているため、潮岬沖からの28℃台の黒潮系水が、紀伊水道入り口付近まで流入している。また、27℃台の紀伊水道内海系水が海部沿岸を覆っている。

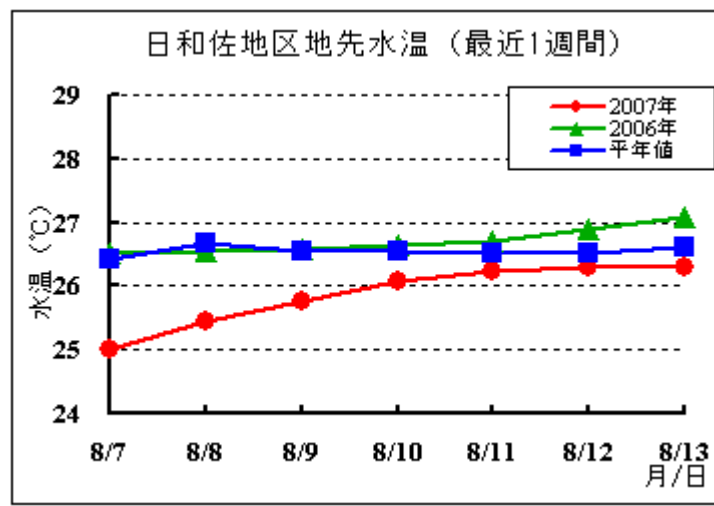
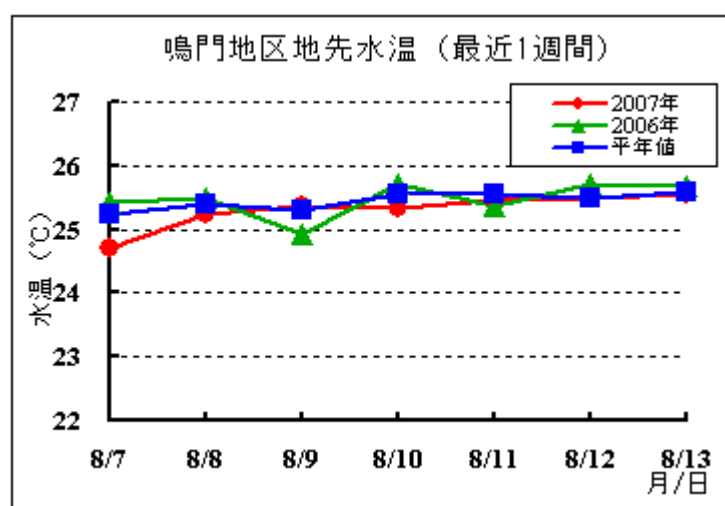
漁業調査船「とくしま」が8月7日に行った播磨灘海区の海洋観測結果では、水温は0m～20m層では「平年並み」の23.8℃～25.7℃、30m層では「やや高め」の23.4℃であった。

播磨灘海区観測結果 (観測日 2007/08/07)

水温	水深				塩分	水深			
	表層	10m	20m	30m		表層	10m	20m	30m
今年値	25.7	24.3	23.8	23.4	今年値	31.9	31.9	31.9	32.0
平年偏差	-0.3	-0.1	0.1	0.6	平年偏差	0.4	0.3	0.2	0.2
前年偏差	-0.5	0.5	0.8	0.9	前年偏差	1.6	1.1	0.8	0.6

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや低め」～「平年並み」の24.7～25.6℃で、日和佐地区が「やや低め」～「平年並み」の25.0～26.3℃で、牟岐地区は「低め」～「平年並み」の24.8～26.8℃で推移した。



2. 漁況の経過

小型定置網:海部沿岸で、マアジが4.1トン(1日1隻あたり206kg)、ウルメイワシが2.5トン(同99kg)、マイワシが2.1トン(同122kg)、大主体にアオリイカが0.2トン(同5kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、マルソウダが0.5トン(同5kg)、小主体にヨコワが0.3トン(同3kg)、大主体にイサキが0.2トン水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋)8月6日～8月13日 県下7漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網	海部沿岸	マアジ	20	4,126	206	
		ウルメイワシ	25	2,483	99	
		マイワシ	17	2,076	122	
		アオリイカ	31	167	5	大主体
釣り	海部沿岸	マルソウダ	92	498	5	
		ヨコワ	98	250	3	小主体
		イサキ	36	244	7	大主体

週間予報:

室戸岬沖～潮岬沖の黒潮は接岸する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「平年並み」の25～26℃、日和佐地先で「平年並み」の26～27℃で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県の釣りでスルメイカが10.4トン(1日1隻あたり47kg)、タチウオが3.2トン(同14kg)、イサキが2.8トン(同13kg)、パッチ網でシラスが13.4トン(同215kg)水揚げされた。

高知県芸東地域の大型定置網で、マアジが1.1トン水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上